

**令和8年度みやざき小中学校学習状況意識調査
プレゼンテーション及び書類審査 審査表**

項目		審査基準	配点	採点
1 業務内容に対する全体概要	① 全体方針・スケジュール	提供されるシステムは仕様書に示すシステム構築方針（オープン化、Web方式、開発手法等）に則っているか。また、スケジュールは具体的かつ予定期間内に完了するように計画されてるか。	5	
	② 調査の目的・実施体制	調査は教員の授業改善や個・学校の課題を明らかにするものとなっているか。また、業務を円滑に遂行するための実施体制やリスク管理体制が明確か。	5	
2 調査結果の提供	① 提供資料	調査結果の提供資料が、児童生徒・保護者・学校・市町村・県が理解しやすく、平均値と比較しながら学習や指導に活かせるものとなっているか。	5	
	② 調査結果集計の仕組み	採点結果を迅速かつ正確に集計し、調査結果を作成・分析するための仕組みが構築されているか。	5	
3 SLA(Service Level Agreement)	① 対象端末・処理性能	約18,000人（小4・中1）が同時アクセスしても遅滞なく処理できる情報処理能力をもっているか（通常時1秒以内、集中アクセス時3秒以内）。	5	
4 機能の操作性、実効性、安全性	① 解答方式・調査時の機能	選択式（タップ等）・記述式等の多様な入力、スクロール、ページ選択、一斉開始・中断・バックアップ等の機能が備わっているか。	5	
	② 児童生徒・教職員の状況確認	児童生徒が自身の回答状況や進捗を確認でき、教職員が個別の回答状況や送信完了、通常版・ルビ版の設定を適切に行えるか。	5	
	③ 結果分析・閲覧機能	学校・市町村・県それぞれの立場に応じた分析機能（度数分布、グラフ表示等）があり、少ない作業でスムーズに閲覧できるか。	5	
	④ 運用支援・問合せ対応	問い合わせ窓口（コールセンター）の設置、受検者向け案内の提供計画が具体的か。	5	
	⑤ 不測の事態への対応	障害・故障時の対応体制、ネットワーク遮断時等の不測の事態への備え、バックアップ体制が示されているか。	5	
	⑥ システムの安全性・セキュリティ	ISMAP準拠等のデータセンター利用、常時SSL、不正侵入・改ざん検知、ウイルス対策、学校間の適切なアクセス制限（権限管理）が図られているか。	5	
5 業務遂行の実現性	① データ移行・システム拡張	調査結果や初期データの移行、学級編成の変更（進級等）、将来の業務量増大に対する対応方針や拡張方法が示されているか。	5	
	② 業務の引き継ぎ	契約終了時の円滑な業務引き継ぎ（引き継ぎ書の作成、汎用形式でのデータ提供等）についての協力体制が示されているか。	5	
6 意識調査業務の実施能力	① 経費の妥当性・実績等	事業の積算にかかる単価や経費が妥当であり、提案内容と整合性がとれているか。また、同種・類似業務の実績や信頼性があるか。	5	

審査員 氏名：

合計 70

【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、点数が同点の場合は、委員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である35点（満点70点×5割）以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である35点（満点70点×5割）以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価規準】

- 5 標準より非常に優れた提案
- 4 標準より優れた提案
- 3 標準的な提案
- 2 標準よりもやや劣る提案
- 1 標準より劣る提案